Faronics INSIGHT™

総合的ラボ管理

ユーザーガイド

Faronics
Intelligent Solutions for ABSOLUTE Control

www.faronics.com

最終更新日 :2010 年 10 月

© 1999 - 2010 Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics, Deep Freeze, Faronics Anti-Virus, Faronics Core, Anti-Executable, Faronics Device Filter, Faronics Power Save, Faronics Insight, Faronics System Profiler, WINSelect は Faronics Corporation の商標および / または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。

目次

序文 5

重要な情報 6
- Insight に関して 6
- 製品の文書 6

サポート環境 7

テクニカルサポート 8
- 連絡先情報 8

インストール Insight ヴァージョン 9

インストールの計画 10
- インストール開始前には次のような問題を考慮しておきます： 10

Insight ヴァージョンを Windows にインストールする 13
- 教師コンピュータ上への Insight ヴァージョンのインストール 13
- 生徒コンピュータ上への Insight ヴァージョンのインストール 13

MSI を利用して Insight をスクリプトまたは大量設置する 15

シンクライアント環境で Insight ヴァージョンをインストール 16
- ターミナルサーバ のインストール 16

Ncomputing インストール 18
- NComputing X-Series 18
- NComputing U および L シリーズ 18

Insight ヴァージョンをアクティブディレクトリ安全モードでインストール 20

Insight ヴァージョンを安全モードでインストール 21

Insight ヴァージョンを Mac にインストールする 22
- 手動インストール 22
- 自動インストール 23

Insight ヴァージョンをキオスクモードで実行 24

Insight 優先設定の構成設定 25
- 教師の優先設定 25
- 生徒の優先設定 26
- ウェブ制限 27
- アプリケーション制限 27
- キーストローク警告 28
- ドライブ制限 28
- ネットワーク 28
- チャネルの変更 29
- Insight 教師のアップデート 30
- Insight 生徒のアップデート 30

Insight セキュリティモニタ 32

NAL 環境の Insight 33

ウェイクオン LAN 対応 34

802.11 ワイヤレスサポート 35
- 特殊なハードウェア要件 35

その他の Insight ユーティリティ 37

Insight ヴァージョンの使用 39

始めに 40
Insight の動作方法 41
教師用コンピュータを使用する 42
生徒用コンピュータについて 43
ユーザーインターフェースのヒント 44
Insight ヴァージョン の新機能に関する概要 46
Insight ヴァージョン の機能に関する概要 49
別のコンピュータ上でテストビルダーを使用 57
Insight セキュリティモニタ 58
Insight 優先設定の設定 59

序文

ご購入いただきありがとうございます。Insight v7.5 **クラスルーム管理ソフトウェア** . Insight **ヴァージョンは、先生、教授、トレーナーの方が** 21 **世紀の教室でより効率よく教えることができるようにアシストするために開発された評価の高いソフトウェア プログラムです。**

このインストールガイドではインストールの仕方を説明します。Insight v7.5 **クラスルーム管理ソフトウェア**

トピック

重要な情報

インストール Insight ヴァージョン

テクニカルサポート

重要な情報

この項には Insight 製品についての重要な情報が記載されています。

Insight に関して

Faronics は、複雑な IT 環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界をリードするソリューションをお届けしています。Faronics の製品は、システムの可用性を 100 パーセント確保することで、多くの情報技術専門家の日常業務を劇的に改善しました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics の顧客中心の取り組みによるパワフルなテクノロジー改革を有効に御使用頂いています。

製品の文書

下記の文書から Insight v7.5 クラスルーム管理ソフトウェア書類一式が構成されています：

- *Insight ヴァージョン ユーザーガイド* — この文書は製品の使用方法をガイドするものです。

サポート環境

Insight ヴァージョンは、下記のオペレーションシステムを実行する任意のコンピュータをサポートしています。

Windows 2000, Windows XP-32, Windows Vista-32/64,Windows 7-32/64、Windows 2003 および 2008 ターミナルサーバ、Windows MultiPoint Server、シトリクス、NComputing X、L および U シリーズ、Mac OS 10.4 以降のバージョン、iPods、iPhone、iPads 上の iOS3 および iOS4。

唯一の例外は Mac 対応の Insight Teacher コンソールで、OSX 10.5 以降のバージョンが動作する Intel ベースの Mac ハードウェアでのみご利用いただけます。

Insight の動作に必要な最低要件は以下の通りです。教師、生徒いずれのコンピュータでも同様です。

プロセッサ

PC:166 MHz Intel® Pentium® プロセッサー以上のスピード

Mac:700 MHz PowerPC G4、G5 以上、全 Intel-based Mac

RAM

- 96 MB / Windows 2000 の場合
- 128 MB / Windows XP の場合
- 256 MB / Windows Vista の場合
- 512 MB / Windows 7 の場合
- 512 MB for Mac OS X の場合

プロトコルスタック

Insight が動作するすべてのコンピュータは、静的または動的 IP アドレスを実行する TCP/IP で設定されている必要があります。業務用アクセスポイントを推奨しますが、802.11 のワイヤレスにも対応しています。

テクニカルサポート

このソフトウエアは使い勝手を考え、問題がないように全力を尽くして作成されています。問題が生じた場合には、テクニカルサポートまでご連絡ださい。

Email: support@faronics.com

電話：800-943-6422 **または** 604-637-3333

営業時間：午前 7:00 **時から午後** 5:00 **時 (太平洋標準時刻)**

連絡先情報

- **ウェブサイト：**www.faronics.com
- Email: sales@faronics.com
- **電話：**800-943-6422 **または** 604-637-3333
- **ファクス** :800-943-6488 **または** 604-637-8188
- **営業時間：午前** 7:00 **時から午後** 5:00 **時 (太平洋標準時刻)**

住所：

Faronics Technologies USA Inc.
2411 Old Crow Canyon Road, Suite 170
San Ramon, CA 94583
USA

Faronics Corporation
609 Granville Street, Suite 620
Vancouver, BC V7Y 1G5
Canada

Faronics Corporation (Europe)
Siena Court
The Broadway Maidenhead
Berkshire, SL6 1NJ UK

インストール Insight ヴァージョン

この章は Insight v7.5 クラスルーム管理ソフトウェアのインストール方法を説明しています。

トピック

インストールの計画
Insight ヴァージョンを Windows にインストールする
MSI を利用して Insight をスクリプトまたは大量設置する
シンクライアント環境で Insight ヴァージョンをインストール
Ncomputing インストール
Insight ヴァージョンをアクティブディレクトリ安全モードでインストール
Insight ヴァージョンを安全モードでインストール
Insight ヴァージョンを Mac にインストールする
Insight ヴァージョンをキオスクモードで実行
Insight 優先設定の構成設定
Insight セキュリティモニタ
NAL 環境の Insight
ウェイクオン LAN 対応
802.11 ワイヤレスサポート
その他の Insight ユーティリティ

インストールの計画

Insight ヴァージョンをインストールする前に、以下の要件を検討し、お使いのネットワークとコンピュータが正常に動作していることを確認してください。インストール中の問題を防ぐためにもこの確認を行ってください。

インストールを計画する時間を除けば、各コンピュータへの Insight のインストールは 2 分以内で実行できるはずです。

インストール開始前には次のような問題を考慮しておきます：

通常クラスルーム / ラップトップカート環境またはマンツーマン環境から選択する

通常クラスルーム / ラップトップカート環境に関しては、本説明書の後述する通常のインストール指示に従ってください。

生徒 1 人 1 人が自分のコンピュータを持つ「マンツーマン」環境で Insight を実行する際には、教師チャネルへのチャネルを生徒が変えられるようにするか、教師がリストを作成して生徒をクラスに入れさせるようにしたいかを決定します。

自動的に生徒をクラスに入れるようにすることをお薦めします。

機能は下記の通りです：

1. 全ての生徒のコンピュータを、教師が誰も使用していないデフォルトの ' ホーム ' チャネルに設定します。
2. 各教師を固有のチャネルに設定します。通常は彼らのクラスルーム番号になります。
3. 教師のログイン ID、アクティブディレクトリ名またはコンピュータ名のいずれかに基づいてクラスリストを作成します。クラスリストはちょっとしたプログラミングで生徒情報システムからインポートしたり、抽出することができます。クラスリストを自動的に作成するために Insight ヴァージョンを SIS を統合することに興味がおありでしたら、Insight サポートまでご連絡下さい。
4. クラスリストを読み込みます。この作業により、生徒を一時的にホームチャネルを教師がログオンしているチャネルに " 引き出し " します。
5. クラスを終了します。現在のクラスリストが終了すると、現在のクラスにいる全生徒にホームチャネルに戻るように命じます。

   注意：生徒が教師チャネルを選択できるようにしたい場合、生徒のコンピュータに生徒用インストールを実行する際に、*詳細オプション*にある*生徒がチャネルを変更可能にする*というオプションにチェックを入れて下さい。

各クラスルームに対して独自の教師チャネルを選択します。（通常クラスルーム設定 ）

Insight ヴァージョン は同じネットワーク上で、16,000 ものクラスルームと一緒に動くよう設計されています。教師チャンネルを使い、教師のコンピュータ上のコンテンツを同じチャネルの生徒のコンピュータにブロードキャストするのに使用します。インストールを簡素化するために、各クラスルームは独自のチャネルを持つ必要があります。

教師チャネルをテレビのチャンネルのように考えてください：あるチャンネルを受像できるよう設定されたテレビはどのテレビでも同じ番組を受信します。同様に、ある教師チャネルに設定された全ての生徒は同じチャネルに設定された教師からのスクリーンブロードキャストを受信するわけです。ネットワーク上に 1 つの Insight クラスルームしかなければ、1 から 16,000 の中から任意の番号を選択できます。複数の Insight クラスルームがある場合は、各クラスルームはそれぞれ独自の教師チャネル番号が必要です。

各クラスルーム用に、教師コンピュータとなるコンピュータを決定する

通常、クラスルーム 1 室に 1 台の割合で教師コンピュータを設定することになります。教師はこのコンピュータを使って、同じクラスルーム内のすべての生徒コンピュータをコントロールします。インストール中に、コンピュータが " 教師 " または " 生徒 " 用であるかを指定しなければなりません。

クラスルーム毎に 1 台以上の教師コンピュータを設定できますが、最初に " 制限 " アクションを実行した教師が、その後に同じ " 制限 " アクションを実行しようとする教師よりも優先されます。

全生徒・教師コンピュータに有効な TCP/IP プロトコルスタックを設定します。

コンピュータが DHCP を使用していれば、DHCP は適切に機能するはずです。教師と生徒コンピュータが全て同じ IP サブネットであればベストです。Insight ヴァージョンは静的 IP アドレスで動作しますが、必須ではありません。

教師と生徒コンピュータが同じ IP サブネットではない場合、Multicast または IP ディレクティッドブロードキャストを使用し、スイッチがこれらの機能をサポートしているか確認して下さい。

良好なネットワークハードウェアおよびソフトウェアを使用する

あなたのクラスルームがすでにネットワークエラーを経験している場合、Insight ヴァージョンは事態をさらに悪化させます。コンピュータにログオンする際、またはネットワーク上でファイルをコピーする際に問題がある場合は、Insight をインストールする前に問題を解決してください。

業務用アクセスポイントを利用する

ワイヤレス ネットワーク上で Insight ヴァージョンを利用する場合は、業務用のクラスアクセスポイントを利用することが重要です。通常、100 ドル以下の個人家庭用ネットワークワイヤレスアクセスポイントは多数の接続を処理できるほど頑丈ではありません。生徒の接続を確実に処理可能な 200 ドルから 300 ドルのアクセスポイントをお薦めします。

生徒に Insight ヴァージョンアイコンにアクセスさせるかどうかを決定する

生徒に Insight アイコンにアクセスさせたくない場合は、生徒用のインストールを実行し、*詳細オプション*を選択し、*お忍びモード*を選択します。

Insight をアクティブディレクトリ安全モードで実行するかどうかを決定する

Insight ヴァージョンをアクティブディレクトリ安全モードで実行し、*Insight 教師*が特定のチャネル上の生徒を見る際には、ドメインユーザーグループのメンバーである必要があります。アクティブディレクトリ安全モードでの Insight ヴァージョンのインストール方法は、本説明書の後述する Insight ヴァージョンのアクティブディレクトリ安全モードでのインストールについての項目を参照してください。

Insight を安全モードで実行するかどうかを決定する

Insight ヴァージョンを安全モードで実行すると、教師は、特定のチャネル上の生徒を見るためにパスワードをタイプする必要があります。Insight ヴァージョンの安全モードでのインストール方法は、本説明書内で後述する Insight ヴァージョンの安全モードでのインストールの項を参照してください。

Terminal Services、MultiPoint Server、NComputing のいずれかでインストールする必要があるかを決定する

Insight ヴァージョンは、シンクライアント、ファットクライアント、あるいはその混合の環境のいずれでも動作します。シンクライアント対応のインストール方法については、本説明書内で後述するシンクライアント環境で Insight ヴァージョンをインストールの項を参照してください。

Mac でソフトウェアをインストールするかどうかを決定する

Insight 生徒と教師のアプリケーションは Mac 上でも動作します。Mac への Insight ヴァージョンのインストール方法は、本説明書内で後述する「Insight ヴァージョンを Mac にインストール」の項を参照してください。

Insight ヴァージョンを Windows にインストールする

Insight ヴァージョンには Windows 対応の 2 つのインストールプログラムがあります。

- teacher.msi
- student.msi

Insight ヴァージョンをインストールするには、適切な .msi ファイルを教師または生徒コンピュータで実行しなければなりません。インストールにより、各コンピュータ上の「C:\Program Files\Faronics\Insight」フォルダが作成され、全ファイルはコンピュータ上でローカルに保存されます。

インストールが完了したら、毎回コンピュータが起動されると、生徒または教師プログラムは自動的に起動します。

教師コンピュータでは、コンピュータ画面の右下隅のシステムトレイの中に、Insight アイコンが表示されます。Insight の使用を開始するには、Insight ショートカットメニューを右クリックして開くか、Insight コンソールを左クリックして開きます。

生徒コンピュータでは、コンピュータ画面の右下隅のシステムトレイの中に Insight 生徒アイコンが表示されます。カーソルをアイコンの上に置くと、教師チャネルと生徒のコンピュータの IP アドレスが表示されます。

教師コンピュータ上への Insight ヴァージョンのインストール

1. 「マイ コンピュータ」で、Insight 製品をダウンロードした場所に行き、*teacher.msi* をダブルクリックします。
2. *次へ*をクリックします。
3. 表示されるライセンス契約書を読み、*同意します*をクリックし、*次へ*をクリックします。
4. 教師チャネル番号（1 ～ 16,000）を入力し、*次へ* をクリックします。各クラスルームが独自に持っている番号を選択するよう注意してください。
5. 詳細オプションを設定したい場合は、「*詳細オプション設定をチェック*」ボックスをチェックします。
6. 適宜、詳細オプションを設定します。**ほとんどの詳細オプションは、教師コンピュータが生徒コンピュータになる時のみに適用されます。**
7. *インストール*をクリックします。
8. *終了*をクリックしてインストールを終了します。

生徒コンピュータ上への Insight ヴァージョンのインストール

1. 「マイ コンピュータ」で、Insight 製品をダウンロードした場所に行き、*student.msi* をダブルクリックします。
2. *次へ*をクリックします。
3. 表示されるライセンス契約書を読み、*同意します*をクリックし、*次へ*をクリックします。
4. 教師チャネル番号（1 ～ 16,000）を入力し、*次へ* をクリックします。各クラスルームが独自に持っている番号を選択するよう注意してください。
5. 詳細オプションを設定したい場合は、「*詳細オプション設定をチェック*」ボックスをチェックします。

6. **適宜、詳細オプションを設定します。**
7. ***インストール*をクリックします。**
8. ***終了*をクリックしてインストールを終了します。**

MSI を利用して Insight をスクリプトまたは大量設置する

teacher.msi または *student.msi* をスクリプトまたはデスクトップ管理ツールから実行したい場合は、Insight をインストールするためのコマンドラインオプションがあります。*msiexec.exe* を実行すると、機能を有効にするために、各値がヌル値以外の値（1 など）に設定されます。*Msiexe.exe* コマンドライン パラメータは、*msiexec.exe* を実行することでわかります。*Msiexec.exe* は Microsoft のプログラムです。

- CHANNEL="X"
  教師チャネル X で Insight をインストールします。「X」は 1 ～ 16000 の整数である必要があります。
- ADVANCED_OPTIONS
  詳細オプションを設定するために必要です
- STEALTH_MODE
  無効値以外に設定した時、Insight アイコンは生徒コンピュータには表示されません。
- STUDENT_CHANGE_CHANNEL_MODE
  ヌル値以外の値に設定した場合、生徒は教師チャネルを変更できます。
- NO_KEYBOARD_MONITORING_MODE
  ヌル値以外の値に設定した場合、生徒キーストロークを捉えることはできません。
- AD_SECURE_MODE
  ヌル値以外の値に設定した場合、教師か生徒がアクティブディレクトリ安全モードに入ります。生徒を管理できるのは、ドメインユーザーグループ「Insight 教師」のメンバーになっている教師のみです。
- SECURE_MODE
  ヌル値以外の値に設定した場合、製品の安全バージョンがインストールされます。教師コンソールに入るためにパスワードが必要になります。
- PASSWORD
  安全モードにする際に、パスワードが必要になります。
- PASSWORD_CONFIRM
  安全モードにする際に、パスワードの確認が必要になります。
- TASK_MANAGER_LIMIT
  ヌル値以外の値に設定した場合、教師はタスクマネージャとアクティビティモニターを制限するかしないかを決定できます。
- ENABLECHANNELSELECT
  ヌル値以外の値に設定した場合、別のクラスルームを見るために教師はチャネルを変更できます。

例えば、「test」というパスワードを使って、チャネルは変更可能だが 3 チャネルで開始するという安全モードの教師用を無音でインストールしたい場合、スクリプトは次のようになります。

```
Msiexec.exe /i "<path to teacher.msi>\teacher.msi" /qn ADVANCED_OPTIONS=1 SECURE_MODE=1 PASSWORD=test
PASSWORD_CONFIRM=test CHANNEL=3 ENABLECHANNELSELECT=1
```

シンクライアント環境で Insight ヴァージョンをインストール

Insight ヴァージョンは Terminal Server、MultiPoint server、NComputing 環境をサポートしています。Insight はシンクライアントコンピュータを生徒および / または教師コンピュータとして使用可能にします。クラスルームではシンクライアントコンピュータと従来のクライアントコンピュータ（「ファットクライアント」）を自由に組み合わせて使用できます。

ターミナルサーバ のインストール

ターミナルサーバのインストールは次の 2 つの手順で実行します。まず、ターミナルサーバ上で、*TerminalServer.msi* を実行する必要があります。この作業により、全て必要なファイルがターミナルサーバにコピーされますが、ターミナルサーバクライアントコンピュータを教師用または生徒用として設定することはありません。

ターミナルサーバが「実行（Execute)」モードになっていれば、「インストール後（After Installation)」のダイアログが表示されます。Insight ヴァージョンはターミナルサーバにインストールできるよう設計されていますので、このダイアログを完了させる必要はありません。ダイアログ内の「*キャンセル l*」ボタンを押してかまいません。

この第一手順を完了したら、Insight ファイルはターミナルサーバにコピーされています。使いたい各シンクライアントのコンピュータ上で動作するよう Insight を適切に設定する必要があります。次の 3 つの方法のいずれかでこれを実行します：

1. **生徒または教師の手動環境設定**
   管理者の権限を使ってシンクライアントにログインし、*SetupTSClient.exe* 環境設定を実行します。クラスルーム内の各シンクライアント デバイスでこの手順を繰り返します。
2. **生徒または先生のスクリプト環境設定**
   SetupTSClient.exe ユーティリティをスクリプトすることができます。下記のコマンドラインオプションが認識されます：

#X	「X」が希望チャネル番号である場合、先生チャネルを環境設定します。
StUdEnT	Insight 生徒ソフトウェアをログイン時に実行するシンクライアントデバイスを環境設定します。
TeAcHeR	Insight 教師ソフトウェアをログイン時に実行するシンクライアントデバイスを環境設定します。
PaSsWoRd	セキュリティパスワードの指定を可能にします。
UNINSTALL	シンクライアントデバイスが Insight ソフトウェアに読み込みできなくなるように環境設定します。
QUIET	サイレント環境設定を実行します（これは指定された最後のオプションでなければなりません）

3. LskTSDat.ini file

以前の「手動環境設定」が Insight 環境設定ファイル (C:\Program Files\Faronics\Insight\LskTSDat.ini.) を編集します。各シンクライアント上で *SetupTSClient.exe* の実行を希望しない場合、ノートパッドのようなテキスト編集ソフトで直接 *LskTSDat.ini* ファイルを編集できます。

ファイル内に各シンクライアント用にエントリーがあり、これが Insight 生徒または教師用のソフトウェアのいずれかを実行します。ini ファイルのフォーマットは次の通りです：

[Insight TSClient List]

THINCLIENT001001=Teacher, Channel=1, Name=Teacher1

THINCLIENT 001002=Student, Channel=1, Name= THINCLIENT001002

THINCLIENT 001003=Student, Channel=1, Name= THINCLIENT 001003

THINCLIENT 001004=Student, Channel=1, Name= THINCLIENT 001004

DEFAULT=Student, Channel=1, Name=Default

各ラインの最初の部分 (この例では THINCLIENT001001) **はそのシンクライアントの「クライアント名」です。各シンクライアントデバイスには、製造業者が設定した、あるいはハードウェア環境設定時に設定された独自のクライアント名があります。デバイスにログインし、コマンドプロンプトに「**SET] **コマンドを入力すると、その名前が表示されます。多くの** IT **部門では、各シンクライアントデバイスのクライアント名のリストを持っています。**

クライアント名「デフォルト」はデフォルト設定として使用することが可能です。シンクライアントが *LskTSDat.ini* **ファイル内でシンクライアントを見つけられない場合、デフォルト入力の環境設定であると推測します。(もしそのような入力が存在する場合）**

注意：シンクライアントデバイスの中にはデバイスに独自のクライアント名を設定する環境設定が必要な場合があります。Insight **は全てのシンクライアントデバイスに独自のクライアント名を持たせる必要があります。シンクライアントデバイスの書類を確認し、各デバイスが独自のクライアント名を所有していることを確認して下さい。**

クライアント名の次は、シンクライアントデバイス上で実行する Insight **ソフトウェアのタイプです（生徒または教師のいずれか)。次のパラメータがそのシンクライアントに使用する** Insight **チャネルを定義します。一般的に、同じクラスルーム内にあるシンクライアントのデバイスはすべて、同じチャネル番号を持っています。**

最後のパラメータは Insight **表示名を定義します。生徒はログイン名とこの名前と一緒に教師コンソールに表示されます。デフォルトでは、クライアント名を使いますが、もっと意義深い名前を希望する場合、変更が可能です。**

負荷バランシングの場合（複数のターミナルサーバが同じラボで使われている）には、全ターミナルサーバに Insight **ソフトウェアをインストールし、次に、完了した** *LskTSDat.ini* **ファイルを全ターミナルサーバに複製する必要があります。もし多くのターミナルサーバの負荷バランスが同じである場合、共通の** *LskTSDat.ini* **ファイルを共有するように** Insight **を環境設定することが可能です。指示をあおるためには** Insight **サポートまでご連絡下さい。**

Ncomputing インストール

NComputing X-Series

X シリーズのプラットフォームでは、単独のコンピュータを最大 11 ユーザーで共有できます。ホストマシンには、2X シリーズ PCI カードが最大 2 枚インストールされています。ソフトウェアをホストの全てのクライアントにインストール後、ホストを再起動し、全てのユーザーは再度ログインします。インストールの方法はターミナルサーバーのインストール（上記に詳細説明済み）の方法と同様です。初めに Insight ファイルを *TerminalServer.msi* パッケージが入ったホストコンピュータにコピーしなければなりません。それからクライアントマシンを *SetupTSClient.exe* ユーティリティを使用して環境設定します。

NComputing U および L シリーズ

L シリーズのプラットフォームでは、単独のホストコンピュータを最大 30 ユーザーで共有できます。標準イーサネットインフラにより、クライアントハードウェアはホストに帰属しています。U および L シリーズ構造は標準ターミナルサーバと同様なため、初めに Insight ファイルを *TerminalServer.msi* パッケージが入った U および L シリーズのホストコンピュータにコピーしなければなりません。

この方法は上記のターミナルサーバー指示書に詳細に記載されています。ただし、*SetupTSClient.exe* ユーティリティを実行する前に、U または L シリーズデバイスはもう 1 つの環境設定を行うステップが必要となります。ホストで実行中の NComputing ソフトウェアは、ホストに帰属する順にクライアントデバイスに「セッション番号」を割り当てます。これがランダムであるために、Insight はどのコンピュータが「教師」で、どれが「生徒」なのかを判別することができません。L シリーズに固有のこの「位置識別」の欠如を解決するために、Insight のインストール前に特別な手順が求められます。

1. ホストコンピュータ上に「C:\Program Files\Faronics\Insight」というファイルフォルダが存在するか確認します。これはホストで *TerminalServer.msi* パッケージを実行した際に作成されたものです。
2. このフォルダに *LSeries.bat* ファイルが存在するかを確認します。
3. Insight 生徒または Insight 教師ソフトウェアを実行する L シリーズの各クライアントに、独自の「L シリーズ位置番号」を割り当てます。

シリーズ位置番号の割り当て

1. ホストコンピュータから、NTC-2000-XP コンソールを実行します。UTMA/UTSA デバイスフォルダまで行きます。
2. デバイスを選択し、ダブルクリックします。デバイス概要 ダイアログが現れます。
3. 「接続設定」ボタンをクリックし、デバイスプロパティダイアログを表示します。
4. 希望の接続プロファイルを選択し、「編集」ボタンをクリックして接続プロファイルを編集します。
5. 「次のプログラムを開始」ボタンをクリックし、*LSeries.bat* プログラムを指定します。このデバイスの独自の番号を加えます。クラスルーム内のデバイスはそれぞれ独自の番号を持っていなければなりません。(例 LSeries.bat 27)
6. フォルダを「C:\Program Files\Faronics\Insight」に指定します。終わったら *OK* をクリックします。オリジナルの UTMA/UTSA デバイスリストに戻って、他のダイアログでも *OK*

をクリックします。それから、他のデバイスを選択し、ホストに帰属する全てのデバイスが独自の名前を割り当てられるまで上記手順を繰り返します。

全ての L シリーズデバイスが独自の名前を割り当てられたら、ホストを再起動し、全ての L シリーズデバイスが再帰属し、有効な位置番号を取得しているかどうか確認するといいでしょう。

Insight*LSeriesLocation.exe* と呼ばれるダウンロードのユーティリティフォルダにユーティリティがあります。L シリーズコンピュータでこれを実行すると、上記ステップで「L シリーズ位置番号」設定を報告します。各 L シリーズデバイスに独自の番号が本当に割り当てられているかを確かめるいい方法でしょう。

各 L シリーズデバイスに独自の「L シリーズ位置番号」が割り当てられると、Insight ソフトウェアの環境設定をする番です。(X シリーズデバイスを使用している場合、「位置番号」のようなものを割り当てる必要はありません。)

SetupTSClient.exe ユーティリティは各クライアントが先生や生徒になるように環境設定できます。詳細に関しては上記記載のターミナルサーバー環境設定を参照下さい。

シンクライアントにおける制限

シンクライアントに対して全ての Insight 機能を実施できるように努力をしていますが、制限もあります。下記がシンクライアント上で動作しない機能をまとめたリストです。

- USB 制限
- プリンター制限
- 電源
- シャットダウンまたは再起動
- サウンドミュート
- 生徒チャネルの変更 (現在 .ini ファイルから可能)
- 生徒表示名の変更 (現在 .ini ファイルから可能)
- 拡張生徒硬化 (シンクライアントデバイスはサーバからロックダウンされると仮定)

Insight ヴァージョンをアクティブディレクトリ安全モードでインストール

認証された教師のみが生徒を制御できるようにするため、Insight ヴァージョンは Windows アクティブディレクトリに挺入れできます。このモードは、非認証コンソールの使用を防ぐ特別な安全レベルを追加します。また、このモードはアクティブディレクトリードメイン環境で Windows 2000 以降のシステムでのみ機能します。

このモードを完全に環境設定するには、ドメインユーザーグループを作成・追加するドメイン権利をもっていなければなりません。

インストールステップ：

1. アクティブディレクトリ安全モードをインストールするには、Windows Teacher または Student.msi ファイルを実行して下さい
2. 詳細オプションのチェックボックスをクリックする
3. アクティブディレクトリ安全モードを選択する
4. 教師用または生徒用のコンピュータにこれらのステップを繰り返す

スクリプトまたはアクティブディレクトリを使用してアクティブディレクトリ安全モードを教師用または生徒用にインストールするには、「MSI を利用して Insight をスクリプトまたは大量設置する」の項を参照して下さい。

このモードの時に、教師は必ず「Insight 教師」のドメインユーザーグループのメンバーでなければなりません。教師がそのグループのメンバーでない場合、アクティブディレクトリ安全モードの生徒はその教師とはインタラクトできません。

適切な Windows Server 2003 または 2008 アクティブディレクトリツールを使って「Insight 教師」ドメインユーザーグループを作成します。グループを作成後、適切な教師と一緒にグループを表示するために同じツールを使うことができます。

注意：アクティブディレクトリ安全モードは Mac ユーザーの教師や生徒にはご利用いただけません。

Insight ヴァージョンを安全モードでインストール

Insight ヴァージョンには特定のチャネルの生徒を見るコンソールが立ち上げられると、パスワードを教師が入力しなければならない機能が付いています。この機能により、非認証コンソールの使用を防ぐ特別な安全レベルを追加します。

インストールステップ

1. パスワード保護バージョンをインストールするには、教師用コンピュータにインストールするには *teacher.msi* を生徒用コンピュータにインストールするには *student.msi* をダブルクリックして下さい。
2. *詳細オプション*のチェックボックスをクリックする
3. *安全モード*を選択する
4. パスワードを入力し、確認する

教師用コンピュータが「生徒になる」機能を使用する時に安全性を保つため、教師インストールにはパスワードが必要です。

教師がコンソールを立ち上げるまたはチャネルを変更する際に、特定のチャネルやチャネルのグループ上の生徒を見るにはパスワードが要求されます。

スクリプトまたはアクティブディレクトリを使用して教師用または生徒用コンピュータ上にパスワード保護バージョンをインストールするには、「MSI を利用して Insight をスクリプトまたは大量設置する」の項を参照して下さい。

注意：教師のパスワードが漏れた場合、新しいパスワードで教師用と生徒用の両方を再インストールする必要があります。

Insight ヴァージョンを Mac にインストールする

Insight ヴァージョンには、Mac コンピュータを利用している生徒をモニタまたは管理する機能があります。インストール手順はこれまで同様簡単ですが、Mac では若干異なっています。Mac への Insight 教師または生徒ソフトウェアのインストールは下記の指示に従ってください。

手動インストール

カスタマーポータルから Insight インストールファイルをダウンロードし、そのファイルを解凍します。Mac 用のディレクトリがあります。

教師のコンピュータへのソフトウェアのインストールは次の手順で行います：

1. Mac 教師用コンピュータへ *Insight_teacher.dmg* をコピーします。
2. *Insight_teacher.dmg* をダブルクリックします。
3. *Insight_teacher.pkg* をダブルクリックします。
4. インストールウィザードに従って教師チャネルのオプションに行き、教師のチャネル番号（1 ～ 16,000）を選択します。各クラスルームに固有の番号を選びます。
5. 必要があれば、*詳細オプション*を選択します。教師コンソールにある管理者メニューから教師が生徒になった場合、このページから下記オプションが設定できます：

お忍びモード	チェックされていれば、生徒には Insight アイコンが見えず、Insight を使って教師に質問することができません。。
チャネル変更を生徒に許可	チェックされていれば、生徒はチャネルを変更できます。このオプションは、マンツーマンのスクールでのみご利用ください。
キーボード監視を無効化	チェックされていれば、生徒のキーボードストロークはログされません。
安全モード	安全モード – チェックされていれば、教師はパスワードを入力して生徒を管理します。クラスまたはスクール全体に同じパスワードを使用することをお奨めします。パスワードを忘れた場合は、ソフトウェアを再インストールする必要があります。

6. *続行 をクリック*
インストールロケーションは変更できません。Insight をシステムドライブに必ずインストールしてください。
7. インストール をクリックします。
インストーラが、コンピュータの管理者パスワードを尋ねてきます。パスワードを入力して、*OK* をクリックします。
8. インストールに成功したら、ウィザードの最終ページで *閉じる* ボタンをクリックします。
9. チャネルを変更できる教師になりたい場合は、*Insight_teacher.dmg* 内のユーティリティフォルダに入っている EnableChannelSelect ユーティリティをダブルクリックしてください。

生徒のコンピュータへのソフトウェアのインストールは次の手順で行います：

1. Mac 生徒用コンピュータへ *Insight_student.dmg* をコピーします。

2. *Insight_student.dmg* をダブルクリックします。
3. *Insight_student.pkg* をダブルクリックします。
4. インストール ウィザードに従い Insight オプションのページに行きます。このページから下記オプションを設定できます：

お忍びモード	チェックされていれば、生徒には Insight アイコンが見えず、Insight を使って教師に質問することができません。
チャネル変更を生徒に許可	チェックされていれば、生徒はチャネルを変更できます。このオプションは、マンツーマンのスクールでのみご利用ください。
キーボード監視を無効化	チェックされていれば、生徒のキーボードストロークはログされません。
安全モード	安全モード – チェックされていれば、教師はパスワードを入力して生徒を管理します。クラスまたはスクール全体に同じパスワードを使用することをお奨めします。パスワードを忘れた場合は、ソフトウェアを再インストールする必要があります。
教師チャネル	教師のチャネル番号（1 ～ 16,000）を選択します。各クラスルームに固有の番号を選びます。

5. *続行 をクリックします。*
インストールロケーションは変更できません。Insight をシステムドライブに必ずインストールしてください。
6. *インストールをクリックします。*
インストーラが、コンピュータの管理者パスワードを尋ねてきます。パスワードを入力して、*OK* をクリックします。
7. インストールに成功したら、ウィザードの最終ページで *閉じる* ボタンをクリックします。

注意：ファイルボールトがオンになっているユーザーアカウントからインストールされた場合、Mac 生徒用インストールは適切に動作しません。これは Apple のバグで、「Insert the <username> disk(ユーザー名ディスクを挿入してください)」と表示されます。

自動インストール

Insight_teacher.pkg および *Insight_student.pkg* はデスクトップ管理アプリケーションを使って , カスタマイズしてインストールすることもできます。

このパッケージのカスタマイズは、次の手順に従います：

1. *Insight_teacher.dmg* または *Insight_student.dmg.* をダブルクリックします。
2. 「*カスタムパッケージを作成*」をダブルクリックします。
3. インストール ウィザードに従い適切なオプションを選択します。
4. パッケージに名前を付け保存します。

この作業により、選択した設定でインストールされたカスタムパッケージが作成されます。

Insight ヴァージョンをキオスクモードで実行

Insight ヴァージョンでは、Windows 上で 教師用コンソールをキオスクモードで実行できます。このモードにより Insight がコンソールされますので、最小化または終了することはできません。

Insight コンソールをキオスクモードで実行するためには、次の指示に従います。

1. 教師用のコンピュータ上に、Insight 教師をインストールします。
2. *regedit.exe* を開きます。
3. *HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Run* をブラウズします。
4. *KiOsK* を Insight 教師キーに追加します。
   C:\Program Files\Faronics\Insight\Teacher.exe KiOsK
5. *OK* をクリックします。

次回システムを再起動すると、Insight 教師用コンソールはキオスクモードで動作します。

Insight 優先設定の構成設定

Insight の設定は簡単です。7 つのタブが付いたダイアログ 1 つですべての優先設定が制御されています。ほとんどの優先設定は教師コンピュータ上でのこれらの設定を変更することで制御されています。

構成設定には次のタブが含まれます：

- 教師
- 生徒
- ウェブ制限
- アプリケーション制限
- キーストローク警告
- ドライブ制限
- ネットワーク

教師の優先設定

教師タブでは、次のような優先設定を設定できます：

教師画面の表示

フルスクリーン

各生徒の画面に教師の画面が表示されます。教師を表示中、生徒はマウス、キーボードをコントロールすることができません。

ウィンドウ表示

各生徒の画面に教師のブロードキャスト画面が表示されます。この場合、生徒は教師に「従う」ことができ、教師のブロードキャストセッションの間自分達のコンピュータを使うことができます。

色減少

スクリーンブロードキャスト、リモートコントロールと生徒を表示を行っている間、教師が色の数を制限し、教師が使用した背景イメージを抑えることができます。この両方を行うことで性能が向上し、ネットワークバンド幅要件を抑えることができます。

二重モニターの表示

教師が二重モニターを表示でき、二重モニターを使用中に生徒のサムネイルに戻ることができます。

教師のビデオアクセルレータ

性能

このオプションは教師ビデオアクセラレータを有効にします。教師ブロードキャストの性能が格段に向上します。このオプションは教師コンピュータが Windows 2000 以降でのみご利用いただけ、ターミナルサーバ環境ではご利用いただけません。

互換性

このオプションは教師ビデオアクセラレータを無効にします。教師ブロードキャストモードが OpenGL または DirectX アプリケーションで適切に動作しない場合にのみ、このオプションを選択して下さい。

画面メッセージを無効にする

このオプションを使うと、教師は生徒の画面がブランクの時に生徒の画面上に表示するテキストを指定できるようになります。最新のメッセージ 10 通分が保存されていますので、画面がブランクになっていても迅速に選択できます。

サウンド

チェックが入っていれば、教師画面が生徒に表示されている時に Insight サウンド効果が再生されます。

生徒の優先設定

生徒タブでは次のような優先設定を設定できます：

リモートコントロール

生徒のキーボードとマウスを使用不可にする

このオプションで、教師は生徒コンピュータをリモートコントロールしている間、生徒のインプットを「ロックアウト」できます。

生徒のサムネール

実行中のアプリケーションのアイコンをサムネールに表示

サムネールビュー内で、このオプションにより、左手上部隅に生徒が現在実行しているアプリケーションのアイコンが表示されます。

最新訪問したウェブサイトのアイコンをサムネールに表示

サムネールビュー内で、このオプションにより、左手上部隅に生徒が現在最近訪問したウェブサイトを表すアイコンが表示されます。

利用可能時に（ディレクトリから）生徒名を表示する

もしあれば、サムネイル下に生徒ディレクトリ名が表示されます。

タスクマネージャ / アクティビティモニター

生徒コンピュータ上のタスクマネージャまたはアクティビティモニターを無効にする

生徒の Insight フォルダ

生徒フォルダ

このオプションを使うと、生徒コンピュータで Insight フォルダのパスを指定することができます。このパスは、ローカルドライブでもネットワーク ドライブでもかまいません。

ウェブアクセス時に生徒に通知を表示

ウェブ制限を有効な場合に、このオプションを使うと、ウェブサイトにアクセスしようとした生徒に通知を表示する機能のオン・オフを切り替えられます。

ウェブ制限

ウェブ制限タブでは、ウェブを制限するため次のような優先設定を設定できます。

全てをブロックする

このオプションを使うと、すべてのウェブブラウジング、インスタントメッセージおよび電子メールプログラムをブロックします。

許可済のウェブサイト

このオプションを使ってウェブを制限をオンにした時に許可するウェブサイトのリストをタイプ入力することができます。

ウェブサイトのリストは、読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みを実行します。ファイルは、.lsu のファイルとして保存されます。

次のウェブサイトをブロック

このオプションを使って、ウェブを制限をオンにした時にブロックするウェブサイトのリストをタイプ入力することができます。

ウェブサイトのリストは、読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みを実行します。ファイルは、.lsu のファイルとして保存されます。

* 注意：許可済みウェブサイトとブロック済みウェブサイトの両方において、ウェブサイトを指定するために “*” や “?” をワイルドカードとして使用することができます。ウィンドウ上のウェブ制限はいずれのブラウザでも起こります。Mac 上のウェブ制限は Sarari に限られます。

プライベートおよび IP アドレスによるブラウジングを制限

生徒がインターネットエクスプローラーのインプライベートブラウジング機能を使用し、ドット付き 10 進法 (IP アドレス) インターネットアドレスを使用してウェブサイトをブラウジングするのを禁止します。

アプリケーション制限

アプリケーション制限タブを使うと、次のような優先設定を設定できます：

許可済のアプリケーション

アプリケーションの制限をオンにした時に、許可するアプリケーションのリストを指定する際に、このオプションを使用します。アプリケーションのリストは読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みできます。ファイルは .lsa ファイルとして保存されます。

アプリケーションは直接入力でき、追加ボタンをクリックして教師コンピュータ上でアクティブアプリケーションを選択して追加するか、モニターメニューで生徒の実行中プログラムを見るをクリックして生徒のコンピュータからアプリケーションを追加して追加できます。

アプリケーションをブロック

アプリケーションの制限をオンにした時に、ブロックするアプリケーションのリストを指定する際に、このオプションを使用します。

アプリケーションのリストは読み込みと保存ボタンを使って保存・読み込みできます。ファイルは .lsa ファイルとして保存されます。

アプリケーションは直接入力でき、追加ボタンをクリックして教師コンピュータ上でアクティブアプリケーションを選択して追加するか、モニターメニューで生徒の実行中プログラムを見るをクリックして生徒のコンピュータからアプリケーションを追加して追加できます。

キーストローク警告

キーストローク警告タブにより、禁止用語のリストを指定できます。生徒が禁止用語を入力すると、教師はその生徒のサムネイルに黄色の警告アイコンが出て通知を受けます。サムネイル上にマウスを移動させると、その生徒が入力した言葉が表示されます。

ドライブ制限

ドライブ制限タブを使うと、ドライブ制限ボタンをクリックした際にブロックされるドライブのタイプを設定できます。Insight ヴァージョンでは USB ドライブと CD-ROM ドライブをブロックできます。

ネットワーク

ネットワークタブでは、次のような優先設定を設定できます：

データ転送

IP- ブロードキャスト

教師が全生徒のコンピュータに連絡する必要がある場合、このデフォルトオプションはブロードキャストパケットを使用します。

ブロードキャストパケットはサブネットまたは VLAN をクロスしないことに注意してください。サブネットや VLAN をクロスする必要がある場合、IP マルチキャストか IP ダイレクトブロードキャストのいずれかをお薦めします。

IP- マルチキャスト

TCP/IP- マルチキャスト経由で Insight データを生徒に転送します。　マルチキャストを利用すれば、ネットワーキングのハードウェアは Insight トラフィックを Insight コンピュータに対してローカルに保持することができます。ネットワークハードウェアがこのオプションをサポートする場合、使用を強くお薦めします。

IP- ダイレクトブロードキャスト

教師が数人または全員の生徒とは異なる IP サブネット上にいる場合、マルチキャストは利用できないので、このオプションが使用できます。適切なアドレスを計算するためには、ダウンロードした Insight のユーティリティフォルダ内にある DirBCastAddr.exe ユーティリティを使用してください。

注意：ネットワーク上でマルチキャストおよび / またはダイレクトブロードキャストを作動させるには、ルーター / スイッチの追加設定が必要な場合もあります。お使いのスイッチ / ルーターについての詳細はハードウェアの取扱説明書をご覧ください。

複数のネットワーク アダプタ

ネットワークインターフェースカードを指定

コンピュータの中には実際に 1 つ以上のネットワークインターフェイスカード (NIC) および / または複数の IP アドレス（すなわちルーター）をもつものもあります。これらはバーチャルまたはワイヤレスネットワークのアダプタであることもしばしばあります。

Insight は「最初の」NIC を常に使用しますが、それが望ましい NIC またはネットワークであるとは限りません。このチェックボックスを使えば、どの NIC を使用するかを指定できます。

教師コンピュータに複数のリアルまたはバーチャルネットワーク アダプタがある場合には、Insight が使用するアダプタを指定してください。

教師チャネル

チャネル番号

教師がチャネル番号を変更できないよう、この機能は通常使用不可にされています。ダウンロードした製品のユーティリティディレクトリの中に、*EnableChannelSelect.exe* と呼ばれるユーティリティが入っています。

教師チャネルを変更する必要がある場合、このユーティリティによりチャネル番号セレクターが作動できます。

EnableChannelSelect.exe のコマンドライン パラメータは次の通りです：

- *EnableChannelSelect.exe* TRUE
- *EnableChannelSelect.exe* FALSE

* 注意：また、*EnableChannelSelect.exe* を使えば、教師または管理者は生徒のチャネルをリモートで変更できます。この機能へのアクセスは、*管理者*をクリックし、*生徒チャネルを変更します*...

管理者チャネル

チャネル “0” は管理者チャネルであり、全てのチャネルを監視することができます。

複数のチャネルを使用する

この機能を使えば、教師は 16000 のチャネルを任意に「グループ化」できます。各チャネルはカンマで区切られている必要があります。例：1,3,4 と入力すると、教師コンソールを設定し、チャネル 1,3,4 にいる全生徒を同時に監視できます。

チャネルの変更

生徒コンピュータのチャネルを変更する必要がある場合、このタスクを完了するにはいくつか方法があります。

- 製品をアンインストールするかインストールし直して、新しいチャネルを選択します。
- Windows では、ユーティリティ ディレクトリにある setchannel.exe を実行します。

- Insight コンソールからチャネルを変更します。*EnableChannelSelect.exe* を実行していれば、コンソールから生徒チャネルを変更することもできます。

1. コンピュータを選択する
2. *管理者*をクリックして、*生徒チャネルを変更*...
3. 新しいチャネルを選択する
4. OK をクリック

- アクティブディレクトリを使用し、student.adm でチャネルを設定します。

注意：Insight は Ghost のようなイメージツールと協調できます。イメージツールを使用する際に、特定のクラスルームで全てのコンピュータに対するチャネルの変更の仕方に主に注意すべきでしょう。大組織の場合では、アクティブディレクトリ か、ログインスクリプトを介した *setchannel.exe* の使用という方法を推奨します。小さな組織の場合は、単純に、教師コンソールを使ってチャネルを変更する方が簡単でしょう。

Insight 教師のアップデート

Insight を新バージョンへ更新するには、教師のインストールファイルを再び実行するだけです。

Insight 生徒のアップデート

Insight ソフトウェアへの機能拡張は必要に応じてリリースされます。生徒コンピュータを最新の Insight にアップデートしたい場合、自動更新できる方法があります。ソフトウェアをすべての生徒コンピュータに手動で再インストールする必要はもうありません。

Windows PC 上の Insight をアップデート

1. まず、Insight の最新バージョンを教師コンピュータに再インストールします（上述の「Insight のアップデート」の項を参照）。
2. 次に、*student.msi* と *pcupdate.zip* ファイルを教師コンピュータ上の Insight インストールフォルダにコピーします（デフォルトフォルダは、Windows では C:\Program Files\Faronics\Insight、Mac では Applications\Faronics Insight です）。

注意：生徒コンピュータ上でディープフリーズまたは同様の「ロックダウン」ソフトウェアを使用している場合は、新しいソフトウェアを生徒コンピュータにインストールできるようにするため、このアップデート手順中はそれらを無効化しなければなりません。

3. Insight コンソール内で、アップデートしたいコンピュータを選択します。
4. *管理者*をクリックし、次に、*選択した生徒の Insight をアップデート*メニューオプションをクリックします。

この手順は、選択した各生徒あたり数秒かかります。終了したら、*表示*、続いて *リフレッシュ（F5）*メニューを押して、生徒コンピュータ上に新しくインストールしたバージョンを確認する必要があることもあります。

また、これは生徒コンピュータを 30 日デモバージョンから最新の販売バージョンに更新するのに最適な方法です。

5. 選択した生徒で *をアップデート Insight* メニューを使って生徒を展開すると、生徒に使われた設定は、教師のインストール中に設定した*詳細オプション*と同様のものとなります。

Mac 上の Insight をアップデート

1. まず、Insight の最新バージョンを教師コンピュータに再インストールします（上述の「Insight のアップデート」の項を参照）。
2. 次に、*mupdate.zip* を Mac ディレクトリから教師コンピュータ上の Insight インストールフォルダにコピーします（デフォルトフォルダは、Windows では C:\Program Files\Faronics\Insight、Mac では Applications\Faronics Insight です）。

生徒コンピュータ上でディープフリーズまたは同様の「ロックダウン」ソフトウェアを使用している場合は、新しいソフトウェアを生徒コンピュータにインストールできるようにするため、このアップデート手順中はそれらを無効化しなければなりません。

3. Insight コンソール内で、アップデートしたい Mac を選択します。
4. *管理者*をクリックし、次に、*選択した生徒の Insight をアップデート*メニューオプションをクリックします。

この手順は、選択した各生徒あたり数秒かかります。終了したら、*表示*、続いて *リフレッシュ（F5）*メニューを押して、Mac 上に新しくインストールしたバージョンを確認する必要があることもあります。

この方法は、生徒コンピュータを 30 日デモバージョンから最新の販売バージョンに更新するのに最適です。

Insight セキュリティモニタ

Insight のような強力なツールでは、常に悪用される危険があります。生徒が不正コピーを探したり、教師ソフトウェアを読み込んでみたい誘惑にかられ、クラスの進行を妨害してしまうこともあり得ます。

潜在的な悪用に対処するためには 3 つの方法があります。

1. 適切な行動についての学校の方針を設定し、その方針を監視、実行します。
2. Insight ヴァージョンをアクティブディレクトリ安全モードにインストールします。この場合、教師は生徒コンピュータを管理するために「Insight 教師」というドメイングループに属している必要があります。（推奨されるメソッド）
3. Insight ヴァージョンをパスワードが必要な安全モードでインストールします。

セキュリティモニタ

セキュリティモニタは、Insight ダウンロードイメージ上のユーティリティフォルダでも利用できます。このアプリケーションはどの生徒 PC でも実行できるもので、Insight プログラムのインストール、アンインストールを含む Insight のアクティビティについてのログ を記録します。

このユーティリティがあれば、大概、クラスルームの「適切な使用方針」を悪用した生徒を学校が素早く見つけることができます。このユーティリティについての詳しい説明は、同じフォルダ内の *Insight ヴァージョン Utilities.pdf* ファイルにあります。

*表示*それから*ステータスウィンドウ*を続けてクリックしても、教師はセキュリティ監視データにアクセスできます。アクションを実行次第、セキュリティメッセージが表示されます。

以前のバージョンでは、Insight のデモバージョンをダウンロードしてインストールした生徒たちが最大のセキュリティ問題を引き起こしました。

NAL 環境の Insight

NAL（ネットワークアプリケーションランチャー）は、Novell ZEN Works パッケージの一部です。NAL は生徒のデスクトップを制御するために使用可能で、管理者承認済みアプリケーションのみに生徒がアクセスできるようになっています。最も制限の高いモード（そしておそらく学校側にとって最も便利なモード）では、指定のアプリケーションのみが実行できます。

Insight ヴァージョンを NAL 環境でインストールする場合は、教師および生徒プログラムの両方とも付属の .MSI ファイルを使って実行します。

教師コンピュータ用の注意点：

教師コンピュータも NAL によってロックダウンされている場合、教師にはシステムトレイがなく、Insight 教師アイコンをクリックして Insight をコントロールすることができません。この場合、ホットキーシーケンス「 <Ctrl><Alt><L>」を使用して、Insight 教師のメニューを出すことができます。

ウェイクオン LAN 対応

リモートで生徒コンピュータの「電源をオン」にするために、ウェイクオン LAN（WOL）テクノロジーが利用されています。この場合、生徒コンピュータでは WOL が有効になるよう設定されている必要があります。この仕様のために必要な手順は、各コンピュータモデルによって異なります。通常、この手順をサポートするにはコンピュータに特別なハードウェアが必要で、有効にしなければならない BIOS スイッチがあります。実際に必要な手順を決定するにはコンピュータサプライヤーに相談するのが一番いいでしょう。

ダウンロードした Insight ヴァージョンのユーティリティフォルダ内には、WOL の準拠性を確認するためのユーティリティである *WakeUp.exe* が入っています。

このユーティリティは、指定したターゲットコンピュータに WOL の「ウェイクアップ」シグナルを送ります。このユーティリティを使用するためには、2 台のコンピュータが必要です：ターゲットコンピュータとコンソールコンピュータです。コンピュータは両方とも同じ IP サブネットに属している必要があります。また、ターゲットコンピュータの物理 MAC アドレスを決定する必要があります

コンピュータが Win9x コンピュータの場合、Window の *winipcfg.exe* ユーティリティを利用することもできます。それ以外では、DOS ボックスから、IPCONFIG /ALL コマンドを実行することができます。

ターゲットコンピュータの物理 MAC アドレスを入手したら、コンピュータをシャットダウンし、別のコンピュータ（つまりコンソール）上の DOS ボックスから、*WakeUp.exe* ユーティリティを実行します。　これにより、ターゲットコンピュータに WOL ウェイクアップパケットが送信されます。

ターゲットコンピュータ上で WOL が適正に設定されていれば、電源が入ります。電源が入らない場合、どんな追加手順をとるべきか確認するため、ハードウェアメーカーに確認しなければなりません。生徒コンピュータ上で WOL が適切に設定されていない場合、Insight 教師コンピュータは、そのコンピュータ上で WOL ウェイクアップを実行できません。

注意：また、Apple 版のウェイクオン LAN では、Mac はスリープから起きますが、オフになっている Mac の電源をオンにはならないのでご注意ください。

802.11 ワイヤレスサポート

Insight ヴァージョンには、ワイヤレスネットワーク上でコミュニケーション中であると教師コンピュータが感知した際に自動的に選択される新しいワイヤレスプロトコルが含まれます。この新しいプロトコルはワイヤレスネットワーク上の Insight の性能を著しく向上させます。

特殊なハードウェア要件

1. NIC ベンダーから入手可能な最新の NIC（ネットワークインターフェイスコネクター）ドライブを全てのコンピュータが使用しているか確認して下さい。「world of wireless」は 10 年ほど前の LAN 環境と似ています。ワイヤレスネットワークドライバは、ほとんど毎月のようにアップデートされ、向上しています。
2. 業務用アクセスポイントを推奨します。アクセスポイントには、2 つの種類があります。家庭用と業務用です。最もわかりやすい違いは値段です。

- 「家庭用」アクセスポイントは通常 100 ドルほどで販売されています（すなわち、LinkSys, DLink, Belkin など）。数台のコンピュータがインターネットリンクやプリンターを共有している家庭環境であれば、問題なく作動します。
- 「業務用」アクセスポイントは、同時に 50 台以上のクライアントをサポートすることが可能です。通常 300 ドルほどで販売されていますが、生徒コンピュータが 5 台以下しかないという環境でもない限り、「業務用」アクセスポイントを使用したほうがいいでしょう。（当社は Meru を推奨しますが、同様の製品は HP、Dell、Cisco（LinkSys 部門以外）、IBM なども生産しています。）このタイプは、Insight だけではなく、一般的に生徒コンピュータにも利点があります。

3. 生徒コンピュータの NIC 上の節電機能をオフにして下さい。弊社テストの結果、これにより Insight 性能もコンピュータのバッテリー寿命も改善したことが分かっています。

インストール

全てのワイヤレスコンピュータは同じアクセスポイントに関連していると推測されます。　これ以外では、インストールに関する特別な問題はありません。インストールガイドで説明の通り、教師および生徒コンピュータでインストールプログラムを実行してください。

性能

生徒コンピュータにブロードキャストする教師画面のスピードは、ワイヤレスは、有線のネットワークでのパフォーマンスと比較した場合良好ではありません。これは変えられません。

有線のネットワークはブロードキャストおよびマルチキャストデータを 100Mbit/ 秒で送信します。　802.11 ワイヤレスネットワークは、通常ブロードキャストおよびマルチキャストデータを毎秒 1MBit にて送信します。（有線スピードのわずか 1%ということです）

ワイヤレスネットワークの帯域幅が大きく減少するだけでなく、802.11 アクセスポイントのアーキテクチャでは、しばしば、ブロードキャストおよびマルチキャストデータに対する著しい伝播遅延も発生します。（これは 802.11 世界の節電アーキテクチャに原因があります ...）

しかし、Insight 教師表示機能はそれでも妥当な範囲で良好に動作します。複雑な教師画面でも、生徒画面に 3 秒以内に表示されるはずです。教師画面の変更は、シンプルであればほぼ同時に表示されるはずです。

ワイヤレスパフォーマンスの調整

オプションで性能を向上させたい場合、アクセスポイントの環境設定を実行することができます。これはベンダによって違いがありますので、以下には一般的なガイドラインのみを示します。あなたの特定のアクセスポイントの変更の仕方を知るには、アクセスポイントの説明書を参照して下さい。

1. ビーコンインターバルをできる限り低くします（一般に、50ms まで下げることが可能です）
2. DTIM をゼロに設定します。(これにより、ブロードキャストとマルチキャストパケットはビーコンパケットが送信されるたびに送信されるようになります）
3. ブロードキャストまたはマルチキャストのスピードを上げます。(すべての AP で設定可能なわけではありません）

その他の Insight ユーティリティ

Insight は常に改良され続けています。ダウンロードした Insight 製品のユーティリティフォルダには、役に立つユーティリティがいくつか入っています。ユーティリティについてのご質問は、support@faronics.com までご連絡ください。

Insight ヴァージョンの使用

この章は、クラスルームでの Insight クラスルーム管理ソフトウェアの使い方を説明するものです。

トピック

始めに
Insight の動作方法
教師用コンピュータを使用する
生徒用コンピュータについて
ユーザーインターフェースのヒント
Insight ヴァージョン の新機能に関する概要
Insight ヴァージョン の機能に関する概要
別のコンピュータ上でテストビルダーを使用
Insight セキュリティモニタ
Insight 優先設定の設定

始めに

Insight ヴァージョン製品ダウンロード版には、Insight をインストールするのに必要なセットアップファイルと、Insight ヴァージョン インストール・ガイド および Insight ヴァージョン ユーザーズ・ガイド の電子コピーが含まれています。

Insight がまだインストールされていない場合は、製品インストールについてのインストラクションとして Insight ヴァージョン インストールガイド を参照してください。Insight をインストールしたら、このガイドに従って製品を使用してください。

Insight の動作方法

Insight では、コンピュータベースの教室の中で、教師がすべての生徒コンピュータを閲覧できるようになっています。

教師「チャネル」を使い、クラスルームのコンピュータ全てが見えるようになっています；テレビチャンネルと似ていて、同じプログラムを異なるテレビで見ることができます。Insight には選択可能な 16,000 もの教師チャネルがあり、これは一定時間に Insight を使って 16,000 もの異なるクラスルームを設けることができることを意味しています。

ラボに Insight を設定する上で最も理にかなった方法は、各クラスあるいは教室が、教師コンピュータ 1 台だけでなく、それぞれ独自の教師チャネルを確保していることです。このセットアップにより、同じクラスルームにある全てのコンピュータがお互いにインタラクトでき、教師が教室全体を管理することができます。

Insight がマンツーマン型の環境で使用される場合、生徒がノートブックを持っている場合、2 つのオプションがあります。

1. 標準設定は、教師がクラスリストを作成し、自動的に生徒をクラスに入れるものです。（推奨）
2. 他のオプションは生徒が教師のチャネルに参加するものです。このモードでは、生徒がクラスに参加したり、退出した時に教師は生徒を監視できます。また、教師は以前に保存したクラスリストに対してクラスにいる現在の生徒リストを比較できます。

大概の学校では、オプション 1 を選んでいますが、その理由は 2 番目のオプションよりも素早くクラスを開始できることにあります。このトピックに関する詳細情報は Insight ヴァージョンインストールガイドを参照下さい。

教師用コンピュータを使用する

Insight ヴァージョンの使用モデルは、これまでのバージョンとほとんど同じです。教師コンピュータ上では、システムトレイ内に小さな Insight アイコンが表示されます。システムトレイはコンピュータ画面の右下隅にあります。このメニューを使って Insight の主要な機能をコントロールします。Mac では、ドックアイコンで Insight メニューにアクセスできます。

より上級の機能は、Insight コンソールにアクセスした場合に利用できます。コンソールには、Insight システムトレイアイコンまたはドッグアイコンを「左クリック」するとアクセスできます。

コンソールでは、主要な機能がツールバー上にアイコンとして表示されます。すべての機能にメニューからアクセスできます。また、コンピュータサムネイルを右クリックしても主要な機能にアクセスできます。

コンピュータまたはサムネイルを選択する場合、すべてのコンピュータを選択するには *ctrl+a* を選択するか、*ctrl* キーを押したままでコンピュータのグループを１つずつ選択していくことをお奨めします。Mac では、*コマンド+a* ですべてのコンピュータが選択できます。サムネイル表示では、マウスで複数のコンピュータを選択するだけで複数のコンピュータを選択できます。

ツールバーボタンを使用する際は、クリックは１回で機能を使用可能にし、ボタンを押すことになります。もう一度クリックすると機能は無効になります。

同じクラスルームで複数の教師コンソールモニターをもつことも可能です。ただし、コンピュータ上での最初の教師のアクションが効力を持ちます。

生徒用コンピュータについて

Insight は、生徒コンピュータ上のバックグラウンドで実行するよう設定されます。生徒のチャネル上の教師が自動的に生徒を見つけます。

Insight 生徒のアイコン

Windows のコンピュータ画面の右下隅のシステムトレイ中に、Insight アイコンが表示されます。Mac では、画面上部に小さなアイコンとして表示されます。アイコン上にカーソルを移動すると、どの教師チャネルがコンピュータにオンされているかを表示します。

生徒がこのアイコンを 1 回クリックすると、教師からのヘルプをリクエストできます。生徒が質問を入力すると、小さなクエスチョンマークが教師コンソールに表示され、生徒が質問があることを示します。クエスチョンマークは、教師がその生徒とチャットするか、または*生徒の質問を消す*というメニューアイテムを使用した場合に消えます。

生徒がこのアイコンを右クリックすると、ファイルを送信 / 収集機能がファイルを送信する生徒ファイルフォルダが立ち上がります。

注意：Insight 生徒アプリケーションのインストール中に生徒によるチャネルの変更を許可するオプションを選択した場合、生徒には参加したいチャネルを選択するメニューオプションが与えられます。

ユーザーインターフェースのヒント

Insight は、シンプルにそして簡単に利用できるようデザインされています。ほとんどの機能は、Insight システムトレイメニューまたはドッグアイコンからアクセスできます。より上級な機能は Insight 教師コンソールで利用できます。

機能はすべて、下記の 5 つのメニュー項目の中のどこかに分類されています：デモンストレーション、モニター、制限、管理者、表示。

Insight ツールバーボタン

Insight の機能を利用するには、個々の生徒を選択し、使用しようとしている機能に対応する Insight ツールバーボタンを押します。ここでボタンが押され、明るい色に変わります。同じ機能の使用を停止するには、ボタンをもう一度クリックします。

Insight ツールバーボタンの中には、ボタンの右に小さい矢印の付いたものがあります。ボタンをクリックすると、その機能の追加オプションにアクセスできます。

ボタンの追加、削除、移動は、*表示*をクリックし、PC では *ツールバーの設定* Mac では *ツールバーのカスタマイズ*をクリックします。

ウェブ・アプリケーション制限の起動

ウェブとアプリケーション制限は起動する前に必ず設定しなければなりません。優先設定メニューでこれらの機能を設定できますが、設定後はメニューやツールバーからオンできます。

右マウスクリック

Insight 教師 コンソール内では、詳細またはサムネイル表示のいずれかで生徒コンピュータを右クリックすると、詳細機能にアクセスできます。

複数選択

このリスト内の複数または全部の生徒を選択することができます。

複数の生徒を選択するには、標準 Windows の *ctrl* クリック方式を使用してください。また、全リストを選択する場合には、*ctrl+a* のキーを押しても選択できます。Mac では、*コマンド +a* ですべてのコンピュータが選択できます。

詳細表示では、選択されたラインは青に変わります。サムネイル表示内で選択すると、そのサムネイル表示の周囲に太い赤の線が付きます。サムネイル表示では、Windows の *ctrl* クリックを使う必要はありません。サムネイル表示内で別のサムネイルをクリックすれば、複数のサムネイルを選択することもできます。

希望する生徒を選択したら、その生徒を右クリックし、詳細オプションメニューを開き、ツールバーボタンまたはコンソールメニューをクリックできます。

生徒の選択を外す

生徒の選択を外すためには、コンソールの空白の部分をクリックします。

暗黙ですべてを選択

生徒が誰も選択されていない場合、ブランクスクリーンや教師表示のような主な機能を起動時に暗黙で全てを選択している場合があります。例えば、生徒が誰も選択されていない場合、ブランクスクリーンツールバーボタンをクリックすると生徒全員の画面がブランクになります。

画面を更新

PC で F5、Mac で *コマンド* +*R* を押すか、メニューアイテムの *表示* -> *更新* を選択すると、チャネル上の生徒コンピュータの再探索が開始され、コンソールが更新されます。

並び替え

デフォルトでは、詳細表示は *ログイン名* 列でアルファベット順で並べられています。いずれかの列のヘディングをクリックすると、選択した列のリストが並び替えられます。

Insight システムトレイ メニュー または ドッグアイコンメニュー

システムトレイメニュー内の Insight アイコンまたはドッグアイコンを右クリックすると、大部分の生徒が毎日使用する機能を含んだメニューが立ち上がります。

システムトレイアイコンを左クリックすると、生徒に対して実行しているアクションが停止され、Insight 教師コンソールが立ち上がります。

Insight メニューのホットキー

教師コンピュータによっては、PC のタスクバーが表示されていないものもあります。表示されていないアイコンをクリックすることはできませんので、Insight 教師のメニューは、*ctrl+alt+l* で立ち上げることができます。(「l」は Insight を表しています)

選択のみ

サムネイルビュー内では、数台のコンピュータを選択して、*全てを表示* ボタンの矢印の下にある *選択のみ* メニューを押すと、選択した数台のマシンのみを見ることができます。

クラスルームレイアウト

クラスルームレイアウトでは、クラスルームの形でサムネイルを並べることができます。クラスルームのレイアウトは、サムネイルのそれぞれのサイズで自動的に保存されます。クラスルームのレイアウト表示を変えるには、*全てを表示* ボタンの右の矢印をクリックし、*クラスルームのレイアウト* を選択します。

グリッドにスナップを利用すれば、クラスルームレイアウトを表示したときのサムネイルの整列が簡単にできます。レイアウトをロックでは、一旦設定したレイアウトが変更されないようにします。

ツールチップの表示

ツールチップの表示では、サムネイル表示内でツールチップを表示または無効化するのに使います。

サムネイルの拡大

全てを表示 ボタンの拡大メニューを使えば、サムネイル上に留まって、一時的に大きなサイズに拡大させる機能をオン、オフできます。

Insight ヴァージョン の新機能に関する概要

Insight ヴァージョンには数多くの新機能がありますが、シンプルに簡単に利用できるようデザインされています。以下は、今回販売される製品の新機能です。

Mac 機能の同等性

今回の Mac 版は、PC 版で使えるほとんどの機能が含まれていますが、アクティブディレクトリ安全モード、ブラウザー独立ウェブ制限、リモートログインと教師に切り替えユーティリティは含まれません。

ワイヤレスプロトコルが向上

Insight は自動的にワイヤレス環境を検知し、新しいプロトコルに切り替えることにより、ワイヤレス環境での性能が著しく向上されています。

マルチキャストビデオ配信と再生

生徒のコンピュータにビデオファイルをマルチキャストし、再生制御をシンクロナイズすることによって、生徒のコンピュータに効率よくビデオを転送します。PC に関しては、ビデオを再生するには、教師と生徒のコンピュータに Windows メディアプレイヤーと適切なコーデックが必ずインストールされてなければなりません。Mac に関しては、ビデオを再生するには、教師と生徒のコンピュータに Quicktime と適切なコーデックが必ずインストールされてなければなりません。

ビデオがちゃんと再生されない場合、最新コーデックのファイルタイプがインストールされていることを再度確認して下さい。

オーディオリスニングとブロードキャスト

生徒のマイク音声を聞き、教師のマイク音声を生徒にブロードキャストします。

教師画面を生徒に表示中に、生徒のマシンに対してオーディオをブロードキャストすることができます。この機能をオンにするには、*デモンストレーション*メニューをクリックし、*教師のマイクをオン*をクリックします。

ある 1 人の生徒のマイク音声を聞き、その生徒とオーディオチャットをしたい場合、*モニター*メニューをクリックし、*教師のマイクをオン (制御中)* と *生徒のマイクをオン (制御中)* にチェックを入れます。

注意：Mac を使っている生徒のオーディオを聞くには、OSX v10.5 以降が必要です。

ブラウザー独立ウェブ制限 & ウェブ履歴

ウェブを制限し、全てのウェブブラウザーに関してウェブ履歴を追跡します。この機能は Windows のみでサポートされています。ウェブ制限は Mac でもサポートされていますが、Safari のみとなっています。

禁止用語に関するキーストローク警告

生徒がもし禁止用語にリストされている用語を入力すると、教師に警告が出されます。警告アイコンがその生徒のサムネイルに表示され、アイコン上に移動すると、入力された禁止用語が表示されます。禁止用語のリストは*優先設定*メニューの *キーストローク警告*タブをクリックすると指定できます。

リモートログイン

ユーザー名、ドメイン名とパスワードを入力すると、Windows の生徒コンピュータへリモートログインできます。そのオプションにチェックを入れておくと、ローカルマシンユーザーアカウントにもログイン可能です。

ドライブを制限する

USB ドライブに加え、CD-ROM とネットワークドライブもオフできます。

デスクトップクリア

1 回クリックするだけで、選択した生徒の全てのアプリケーションを直ちにシャットダウンすることができます。

リモートコントロール性能

入力とカーソルの性能が著しく改善されました。

テスト強化機能

テストツールに様々な強化機能が追加されました。テストはどんなロケーションにも保存でき、短い回答を求める質問タイプもサポートされ、生徒名がリクエストでき、サマリー .csv が追加され、生徒がオプションでテストスコアを受取ることができます。

デュアルモニター

デュアルモニターは教師コンソールと生徒コンソール上でサポートされています。

キーストローク監視強化機能

キーストロークファイルのサイズが 180kb、すなわち約 180 ページの入力テキスト量に増量されました。特別な文字はフィルターされ、検索機能も追加されました。

ファイル強化機能の送信 / 収集

デスクトップとマイドキュメントにファイルを送信するクィックリンクを追加し、エラー報告機能を簡素化、教師が 1 つのフォルダーにファイルを戻せるようになりました。

サウンド

教師を表示または生徒を表示の開始時に、Insight サウンドをオプションでオフにできます。

アプリケーションを終了

*実行中のアプリケーションを表示*ダイアログでは、教師は生徒の実行中のアプリケーションを直ちに終了できます。

ブランク画面のパーソナライズ機能

ブランク画面メッセージにアル下記の変数を含むことで、ブランク画面のメッセージを個々の生徒に合わせてパーソナライズできます。

- %student name%
- %login name%
- %machine name%

iPad, iPod, iPhone のサポート

教師のアシスタントと生徒のエージェントが iOS3 および iOS4 プラットフォームで利用できます。

Insight ヴァージョン の機能に関する概要

Insight ヴァージョンには、これまでのバージョンと同様の次のような機能もあります：

教師画面の全画面表示またはウィンドウ表示

教師画面を同じ教師チャネルですべての生徒に表示することができます。

「全画面」か「ウィンドウ表示」の表示モードを選択できます。全画面モードでは、教師の画面が生徒の画面全てを乗っ取り、生徒のマウスとキーボードをロックアウトできます。

ウィンドウ表示モードでは、生徒のコンピュータ上のウィンドウに教師画面が表示されます。生徒はウィンドウのサイズを変更でき、教師に従いながら作業を行えます。

あなたのコンピュータ画面を生徒コンピュータに表示すると、あなたのスピーカーからの音も伝送されます。生徒は、この音によって Insight セッションの開始を知らされます。この音を変更したい場合は、c:\program files\Faronics\Insight\start.wav and stop.wav を自分のサウンドと交換します。Mac ではこれらのファイルは「/Applications/Faronics Insight/Teacher.app/Contents/Resources」に格納されています。

サムネイル表示モード（監視）

同時に 3000 色までのハイカラーサムネイルを表示できます。各生徒画面は、Insight 教師コンソール内に「サムネイル」として表示されます。サムネイルには 4 種類のサイズがあり、自動的に最適な大きさに調整されます。*全てを表示*ボタンをクリックして、*選択したものを表示*オプションにチェックを入れると、選択した生徒だけを表示できます。

クラスルームレイアウト

サムネイルをクラスルームの形で並べ替えることができます。各サイズのサムネイルには、それぞれのレイアウトがあり、自動的に保存されます。クラスルームレイアウトは、保存したり、読み込んだり、ロックしたりすることができます。

サムネイルの拡大

サムネイル上に移動すると、サムネイルサイズがすぐに大きくなります。この機能を使いたくなければ、*全てを表示*ボタンをクリックし、*拡大*オプションからチェックを外すとこの機能をオフにできます。

使用中のアプリケーション／ウェブサイトアイコン

サムネイルの上右隅に、起動中のアプリケーションとウェブサイトのアイコンを表示するオプションがあります。

プロファイルの読み込み / 保存

*表示*メニューで利用できます。*プロファイル*では後で迅速に読み込めるように主要な教師設定が保存されます。プロファイルに保存される設定は次の通りです：

- クラスリスト
- サムネールのレイアウト
- ウェブ制限 URL とボタンの状況
- アプリケーション制限プログラムとボタンの状況
- 生徒コンピュータ上のタスクマネージャ / アクティビティモニタを制限

- ドット付き 10 進法によるブラウジングを制限
- 印刷ボタン状況を制限
- USB ボタン状況を制限
- ミュートボタン状況
- ブランク画面のメッセージ

リモートコントロール

選択した生徒の動きをリモートで制御することができます。言い換えれば、選択した生徒のコンピュータ上のマウス、キーボードをリモートで使用することができます。Insight ならば、ログインのプロンプトでコンピュータをリモートコントロールすることさえできます。

リモートコントロール中にコンピュータに *ctrl-alt-del* コマンドを送信するためには、コントロールボタンの V 字メニューをクリックして *>Ctrl-Alt Del* メニューを送信するか、*監視* > *から Ctrl-Alt Del* メニューアイテムを送信します。

リモートコントロール中は、Mac のコマンドキーは Windows の *Alt* キーに、*オプション*キーは *Windows* キーに割り当てられます。

複数のコンピュータを選択すると、同時に複数のコンピュータをリモート制御できます。ただし、これができるのは、それらのコンピュータが全く同じに見える時のみです。

生徒のウェブブラウジングを制限

全てのブラウザーに関するウェブへのアクセスを全てまたは選択した生徒に対して一時的に無効にできます。*

優先設定ダイアログでは、下記をブロックすることから選ぶことができます ...

- 全てのウェブ活動
- 一定のウェブサイトを許可する
- 一定のウェブサイトをブロックする

この機能は優先設定ダイアログ内で設定する必要があり、その後でウェブ制限ボタンまたはメニューアイテムをクリックして機能を有効にします。

許可およびブロックリストはワイルドカードである "*" や "?" を認識し、ある一定のウェブサイトを制限することが簡単になります。

インターネットが無効になっている時は、教師と生徒のコンピュータ両方にアイコンが表示され、ウェブが無効になっていることを表示します。

生徒が許可されていないウェブサイトをブラウズしようとすると、オプションで許可済みウェブサイトをリストしたウェブサイトを表示することもできます。

注意 *：Mac 上では、あるウェブサイトを許可するためにサポートされているブラウザは Safari だけです。全てのウェブブラウザーに関して全ての作業がブロックされます。

生徒アプリケーションを制限

指定のソフトウェアアプリケーションへのアクセスを全てまたは選択した生徒に対して一時的に無効にできます。この機能は*優先設定*ダイアログ内で設定する必要があり、その後で *アプリケーション制限*ボタンまたはメニューをクリックして機能を有効にします。アプリケーションの名前を変えるだけでは生徒たちはこの機能を迂回できません。

生徒プリンタの無効化

全てまたは選択した生徒のプリンタを一時的に無効化することができます。無効化すると、教師がプリンタ使用を再度有効化するまで生徒はプリンタを使用できません。

ドライブ制限

USB サムドライブと CD-ROM ドライブへのを生徒のアクセスを制限できます。USB のキーボードとマウスには影響しません。この機能は Mac および Windows 2000 以降を使用している PC で利用できます。

タスクマネージャ（PC）またはアクティビティモニタ（Mac）の制限

生徒のタスクマネージャやアクティビティモニタの実行を制限したい場合、このオプションにチェックを入れて下さい。

キーストロークとアプリケーションの監視

ユーザーがコンピュータで入力した全てキーストロークを監視します。この機能は、ログイン時の応答におけるキーストロークまたはパスワードダイアログには対応しません。この機能は Mac および Windows 2000 以降を使用している PC で利用できます。

生徒の投票

Insight 教師コンソールから、「はい / いいえ」を尋ねたり、複数回答の質問を出したりすることができます。応答した生徒の人数や回答状態をリアルタイムで見ることができます。

生徒のテスト

グラフィック (.jpg, .png, .gif, .bmp) を含む 100 問までの質問を含むテストを作成できます。テスト質問はランダムに並び替えができ、1 人以上の生徒に送信でき、リアルタイムで追跡できます。教師はオプションでテスト時間を測定でき、生徒に結果を表示し、.csv ファイルで結果をエキスポートできます。

ミュート機能

生徒コンピュータの音をミュートにできます。この機能は、*ミュート*ボタンを押すか、または*制限*メニューの下の*生徒のスピーカをミュートにする* メニューを使って実行します。

ノートブック用バッテリーモニタリング

ノートブックや iPod のバッテリー状況を監視します。バッテリー残量が 50%を下回ると、黄色の警告バッテリーアイコンが表示されますバッテリー残量が 20%を下回ると、赤色の緊急バッテリーアイコンが表示されますバッテリー残量と A/C 状態はプロパティメニューからも利用できます。

安全モード

Insight は、コンソールへのアクセスにパスワードを要求するよう設定できます。このパスワードは、生徒のインストールを確保している間に入力されるパスワードと一致していなければなりません。

画面をブランクにする

チャネル上の全生徒画面をブランクにし、全生徒のキーボードとマウスを無効にできます。メッセージは、優先設定メニューでカスタマイズできます。コンピュータで遊んで生徒の注意が散漫になることなく講義をしたい時に、この機能は便利です。

生徒画面の表示

ある生徒の画面を他の生徒全員に送信できます。こうした場合は、その生徒を選択し、生徒を表示するボタンをクリックするだけで簡単に実行できます。ボタンが有効化されると、生徒は自分のコンピュータが制御できるようになり、画面がクラスの残りの生徒に表示されます。

不正使用制御機能

Insight ヴァージョンでは、生徒がいたずらしてソフトウェアをアンロードしたり、授業を妨害したりできないようになっています。

ファイルの送信・収集

ファイルを生徒コンピュータに送信し、その後で回収することができます。この機能を作動するには、生徒はログインしていなければいけません。

PC や Mac が混在する環境でファイルを送信・回収する時に、Mac 生徒が C:\ およびその他のウィンドウパスで簡単に処理できます。

ファイルは独自のフォルダーに戻され、ファイル名を保護するか、ファイル名を変更して 1 つのフォルダーへ戻されます。

メッセージの送信

一部または全部の生徒にメッセージを送信できます。気が散っている生徒をタスクに戻す効果的な方法としてしばしば利用されます。

生徒の質問

生徒は Insight アイコンをクリックして教師への質問を入力できます。質問のマークが、生徒のコンピュータまたはサムネイルに表示されます。「詳細」ビュー内の、最終質問列で生徒からの質問を見ることができますサムネイル表示では、ツールチップで質問を表示しているサムネイルイメージ上にマウスを移動させて生徒の質問を見ることができます。

クエスチョンマークは、教師がチャットセッションまたはサムネイル上を右クリックして消すことができます。

テキストチャット

教師のコンソールから生徒と 1 対 1 でテキストベースのチャットを始めることができます。

シャットダウン、ログオフ、再起動

教師のコンソールから、生徒コンピュータのシャットダウン、ログオフ、または再起動を実行できます。

セキュリティ状態の監視

Insight セキュリティ監視ツールは、*状態ウィンドウの表示*をクリックしてアクセスできます。この機能は、全 Insight トラフィックを表示しますので、不正な Insight 活動を識別することができます。

ダウンロード製品のユーティリティフォルダ内にある新しい *SecurityMonitor.exe* を実行し、全ての Insight 活動をファイルとしてログし、タイプや教師別にそれらのメッセージをフィルタすることもできます。

ランダムに生徒を選択

教師はこの機能を使って、Insight にランダムに生徒を選択させることができます。生徒の意識を集中させ、クラスルームへの参加を促す楽しい方法です。

インターネットを共同ブラウズ

共同ブラウズにより、教師は主要タブを使ってウェブをブラウズでき、選択した生徒のコンピュータ上のウェブブラウザを実際に同じ場所で教師としてブラウズすることができます。PC をサポートするのはインターネットエクスプローラで、Mac をサポートするのは Safari です。

生徒が実行しているアプリケーションを表示

生徒のコンピュータで実行中のアプリケーションを表示し、そのようなアプリケーションを許可またはブロックリストに追加できます。Insight ヴァージョンに始まり、このダイアログボックスから直ちに実行中のアプリケーションを停止することができます。

画面に描く

このオプションにより、画面に赤ペンで描くことができます。マウスの左ボタンを押して、マウスを動かして描きます。このモードを終了させるには、画面右上隅の X 印をクリックして*画面に描く*ウィンドウを閉じます。

見やすいマウスカーソルの動き

生徒が教師のカーソルを見やすくするために、生徒表示には大きな赤いカーソルが表示されます。このようなカーソルは本当のカーソルと同じ形ですが、4 倍大きく明るい赤色です。

生徒画面のスナップショット

生徒の画面を標準的なグラフィックファイルに保存できます。(.jpg または .bmp)　日付、時間と生徒のログイン名が保存ファイルに表示されます。

NetWare 対応

コンピュータが NetWare クライアントソフトウェアを使用している場合、Insight ヴァージョンでは Microsoft のログイン名ではなく NetWare のログイン名を使用します。

マルチキャスト対応

TCP/IP を使用することの利点のひとつは、マルチキャストを利用できることです。マルチキャストを利用すれば、ネットワーキングのハードウェアはローカルの Insight の各コンピュータとクロスサブネットへの Insight トラフィックを保持することができます。ネットワークルータまたはスイッチによってはマルチキャストに対応していないものもありますので、このオプションはデフォルトでは無効になっていますが、*ネットワークタブ*上の*優先設定*メニューで簡単に有効に変更できます。

生徒の電源オフ

生徒コンピュータに対して、ログオフ、再起動または電源を切ることができます。

この機能は Windows 9x のコンピュータでは問題が発生する可能性があります。Microsoft はこの機能は一定のハードウェア上では動作しないと明言しています。Compaq、Dell および IBM コンピュータでは正常にテストされていますが、オペレーティングシステムが Windows 98 または ME で実行しているコンピュータの全てのブランドやモデルで正常に電源を切ることができないかもしれません。（Microsoft Knowledge Base Article Q220706 を参照してください。）

電源オンまたはウェイクオン LAN

生徒コンピュータがウェイクオン LAN テクノロジーを利用するよう設定されていれば、Insight 教師は全生徒の PC の電源を入れることができます。

ほとんどのコンピュータはウェイクオン LAN オプションが BIOS でオフになって出荷されているので、起動時に BIOS 設定に行き、オンにする必要があります。

また、Apple 版のウェイクオン LAN では、Mac はスリープから起きますが、オフになっている Mac の電源をオンにはしませんのでご注意ください。

チャネルのグループ化

教師は任意の指定チャネルを制御し、どんな数量のチャネルでも同時に制御しながらグループ化することができます。

表示のみ

この機能を使えば、教師は選択した生徒のコンピュータを監視することができます。監視中に、生徒が行っていることを全て見ることができますが、生徒のキーボードやマウスを制御することはできません。

全てを表示

この機能により、クラスルームの全てのコンピュータ画面を小型、中型、大型またはエキストラ大型なサムネイルで表示できます。

サムネイルイメージ上でマウスを動かすと、そのイメージの生徒のログイン名とコンピュータ名がツールチップに表示されます。生徒が教師に質問がある場合、その質問もこのツールチップ内に表示されます。マウスを 1 秒程度留まらせると、サムネイルがオプションで大きく表示されます。サムネイル表示を右クリックすると、オプションメニューが表示され、その生徒を制御できます。

リストの更新

このオプションを選択するか、PC 上の F5 ショートカットキーを使うか、または Mac の *コマンド* +*r* を利用することで、リストを更新し、クラスに入ってきた新しい生徒を見ることができます。この作業は 3 分毎に自動的に更新されます。

プログラムの実行

この機能を使うと、生徒コンピュータ上でアプリケーションまたはウェブサイトを実行できます。特定のウェブアドレスへナビゲートしたり、特定のアプリケーションを開始するのが難しい幼い生徒にはこの機能がかなり便利です。

メッセージの送信

全てまたは選択した生徒にメッセージを送信します。メッセージは生徒の PC の右下隅に表示され、また Mac では右上隅に表示されます。

インターネット履歴の表示

選択した生徒が訪れたウェブサイトの履歴を表示します。この機能は PC 上の全てのブラウザに使用できます。Mac の場合、インターネット履歴の表示は Safari のみで使用できます。

生徒コンピュータになる

教師コンピュータを生徒コンピュータに一時的に変えたい場合、教師のコンソールからこれができます。*管理者*をクリックして*生徒コンピュータになる*をクリックして下さい。再起動するか現在のユーザーがログオフするまで、生徒コンピュータの状態は続きます。

選択した生徒をクラスから除外する

この機能は、選択した生徒のコンピュータ上の Insight を一時的に無効化します。ソフトウェアは、生徒が次回コンピュータにログインする時か、生徒コンピュータ上で*選択した生徒をクラスに戻す*を教師が使用した場合に、再度有効化されます。

生徒のコンピュータが無効になると、依然としてリストに表示されますが、コンピュータ画面にグラフィックの停止サインが現れます。この表示は、Insight がその生徒をコントロールしていないことを教師に知らすためのものです。

コンピュータ表示名を変更

このオプションは、コンピュータの実際のマシン名を変更するわけではありません。その代わりに、Insight のコンピュータ名フィールド内に別の名前を表示させることができます。コンピュータが意義深いマシン名がない場合、このオプションを使ってコンピュータにより良い名前を付けることができます。(すなわち、「行 1 列 5」)

生徒の質問

生徒は教師に質問を入力できます。質問は、教師がサムネイル上にマウスを移動するか、詳細表示内の*最新の質問*列を開けると表示されます。

選択した生徒の Insight を更新

このオプションは、選択した生徒のコンピュータに Insight の新規バージョンを手早くインストールする際に使用します。この機能を有効にするには、インストール・ガイドを参照してください。

コンソールからの生徒チャネルの変更

教師コンソールから生徒チャネルを変更できます。これは、*EnableChannelSelect.exe* ユーティリティで管理者が必ず対応しなければなりません。

プロパティ ページ

どの教師が特定の生徒に対してアクションをとっているのかを知る必要がある場合に、プロパティページはトラブルシューティングツールとして便利です。バッテリー残量、充電状態もここに表示されます。

ツールバーの構成設定

ツールバーは、*表示* -> *ツールバーの設定*でカスタマイズできます。PC では、ボタンを新しい位置にドラッグするか、ボタンバーからドラッグして除外して「*alt*」キーを押しながら設定できます。*ツールバーのカスタマイズ*ウィンドウのデフォルトに戻してツールバーをリセットすることもできます。

表示されているよりもバーにあるボタンが多い場合は、w ツールバーの右上隅の「>>」ボタンを使ってアクセスできます。

アクティブディレクトリからの生徒名

Insight は通常、Windows または Novell のログイン名を表示します。ただし、生徒表示名がアクティブディレクトリで利用できる場合、表示名はログイン名列に表示されます。

教師キオスクモード

Insight 教師コンソールは、最小化することも閉じることもできないようにして実行できます。Insight 教師コンソールをキオスクモードで実行するには、インストール・ガイドを参照してください。

優先設定

Insight の動作方法を設定できます。下記の*構成設定の優先設定*セクションを参照してください。

注意：ネットワーク上に Insight を設定したシステム管理者は、おそらくインストール中に各種設定を最適化している可能性があります。カスタム設定へ変更する前に設定をした管理者に相談してみることをお薦めします。

別のコンピュータ上でテストビルダーを使用

教師は自宅のコンピュータや学校のネットワーク上の異なるコンピュータでテストを作成したい場合もあるでしょう。

Insight **教師コンソール以外のコンピュータでテストを作成するには、次の手順に従います：**

1. **マイ コンピュータから、**c:\Program Files\Faronics\Insight **をブラウズする**
2. **テストディレクトリをサムドライブや** CD**、ネットワークドライブにコピーする**
3. **サムドライブや** CD**、ネットワークドライブからのテストディレクトリを任意の** Windows **搭載コンピュータにコピーする**
4. *Testbuilder.exe* **をダブルクリックし、**Insight **テストビルダーを起動する**
5. **テストを作成する**
6. **テストを保存する**
7. **保存したテスト** (.lst **ファイル**) **を、**c:\Program Files\Faronics\Insight\Testing **フォルダに戻してコピーする**
8. **新しく作成されたテストをブラウズし、**Insight **教師コンソールを使って生徒に送付する**

Insight セキュリティモニタ

Insight のような強力なツールでは、常に悪用される危険があります。生徒が不正コピーを探したり、教師ソフトウェアを読み込んでみたい誘惑にかられ、クラスの進行を妨害してしまうこともあり得ます。

潜在的な悪用に対処するためには 3 つの方法があります。

1. 適切な行動についての学校の方針を設定し、その方針を監視、実行します。
2. Insight ヴァージョンをアクティブディレクトリ安全モードにインストールします。この場合、教師は生徒コンピュータを管理するために「Insight 教師」というドメイングループに属している必要があります。（推奨されるメソッド）
3. Insight ヴァージョンをパスワードが必要な安全モードでインストールします。

セキュリティモニタ

セキュリティモニタは、Insight ダウンロードファイル上のユーティリティフォルダでも利用できます。このアプリケーションはどの生徒 PC でも実行できるもので、Insight プログラムのインストール、アンインストールを含む Insight のアクティビティについてのログ を記録します。

このユーティリティがあれば、大概、クラスルームの「適切な使用方針」を悪用した生徒を学校が素早く見つけることができます。このユーティリティについての詳しい説明は、同じフォルダ内の *Insight ヴァージョン Utilities.pdf* ファイルにあります。

*表示*それから*ステータスウィンドウ*を続けてクリックしても、教師はセキュリティ監視データにアクセスできます。アクションを実行次第、セキュリティメッセージが表示されます。

以前のバージョンでは、Insight のデモバージョンをダウンロードしてインストールした生徒たちが最大のセキュリティ問題を引き起こしました。

Insight 優先設定の設定

この優先設定ダイアログには、管理者と教師両方に関する設定が含まれています。以下は、教師が変更を希望する可能性のある設定です：

全画面またはウィンドウ表示

- 全画面表示では、生徒画面上に教師の画面を全面的に表示し、生徒のキーボード、マウスは無効化されます。
- ウィンドウ表示では、生徒の画面上に教師の画面がサイズ変更可能なウィンドウとして表示されますが、生徒のキーボードやマウスは無効化できません。

デュアルモニターの表示

教師コンソールと生徒コンソール上でデュアルモニターサポートをオンします。

画面メッセージをブランクにする

この機能により教師は、生徒画面がブランクの場合に表示されるメッセージを指定できます。

サウンド

教師は教師を表示または生徒を表示ボタンが押された時に再生されるサウンドをオフできます。

生徒コンピュータ上のタスクマネージャ / アクティビティモニタを制限

PC 上のタスクマネージャか Mac 上のアクティビティモニターにチェックが入っていると、無効化されます。これはハッキングや Insight の邪魔行為を防ぐのに役立ちます。

IP アドレスとインターネットエクスプローラインプライベートブラウジングを制限

Insight のウェブ制限機能を免れるために IP アドレスブラウジングを使用する生徒もいるでしょう。このオプションが選択されると、生徒は IP アドレスを使ってウェブをブラウズできなくなります。(すなわち http://70.235.50.6)

Insight はインターネットエクスプローラのインプライベートブラウジング機能も制限します。

ウェブ制限

ウェブ制限を有効にする条件を指定します。

- すべてのウェブブラウジングをブロック
- 下記のウェブサイトのみ許可
- 下記のウェブサイトをブロック

ウェブサイトリストが保存・読み込み可能です。ワイルドカードである "*" や "?" も使えます。Windows を使用している生徒は、ウェブが全てのブラウザーに対して制限されます。Mac を使用している生徒は、生徒が Safari を使用している際にのみ制限されます。

アプリケーション制限

アプリケーション制限を有効にする条件を指定します。

- 下記アプリケーションのみ許可

- 下記アプリケーションをブロック

アプリケーションを許可またはブロックのリストに追加するためには、優先設定ダイアログ内の追加ボタンをクリックするか、生徒の実行中プログラムを表示をクリックします。優先設定ダイアログは、教師 PC 上で実行中のアプリケーションを表示します。

アプリケーションリストは保存と読み込みができます。

実行中のアプリケーションのアイコンをサムネイルに表示

この機能が有効になっていれば、生徒 PC 上で現在実行中のアプリケーションがサムネイルの左上隅にアイコンで表示されます。

最新訪問したウェブサイトのアイコンをサムネイルに表示

この機能が有効になっていれば、生徒が最後に訪問したウェブサイトがサムネイルの右上隅にアイコンで表示されます。

生徒コンピュータの Insight フォルダのフルパス

教師が生徒ファイルのデフォルトロケーションを指定できます。これはハードドライブでもネットワーク ドライブ上でもかまいません。

ドライブ制限

ドライブ制限ボタンをクリックした際にブロックすべきドライブの種類を指定します。

キーストローク警告

生徒が入力したら教師に警告を出す用語のリストを作成・保存・読み込みます。各用語はキャリッジ・リターンによって分離されます。

注意：ネットワークタブのような追加オプションがあり、インストール説明書で説明され、システム管理者のみが変更できます。